

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公開番号】特開 2002-75217 (P2002-75217A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 15 日 (2002.3.15)
 【出願番号】特願 2000-252137 (P2000-252137)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 11/02 (2006.01)

H 0 1 J 9/227 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 11/02 B

H 0 1 J 9/227 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 22 日 (2007.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プラズマディスプレイおよびその製造方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】蛍光体層を形成した部材および / または放電のための複数の電極を形成した部材に封着フリットを塗布・焼成した後、蛍光体層を形成した部材と放電のための複数の電極を形成した部材を封着する工程、および封着した蛍光体層を形成した部材と放電のための複数の電極を形成した部材内を真空排気し放電のためのガスを封入する工程を有するプラズマディスプレイの製造方法であって、部材に蛍光体層を形成した後に酸素を含む雰囲気下で蛍光体層に紫外線を照射することを特徴とするプラズマディスプレイの製造方法。

【請求項 2】蛍光体層を形成した部材に封着フリットを塗布・焼成した後、酸素を含む雰囲気下で蛍光体層に紫外線を照射することを特徴とする請求項 1 記載のプラズマディスプレイの製造方法。

【請求項 3】照射する紫外線が、172 nm 付近の波長で最大ピークを持つことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のプラズマディスプレイの製造方法。

【請求項 4】紫外線を照射する雰囲気が、外囲器内を真空排気した後所定の不純物濃度以下の酸素を含むガスを導入したものであって、蛍光体層を形成した部材に封着フリットを塗布・焼成し、該雰囲気下で蛍光体層に紫外線を照射した後、該雰囲気を大気開放せずに蛍光体層を形成した部材と放電のための複数の電極を形成した部材を封着する工程、および封着した蛍光体層を形成した部材と放電のための複数の電極を形成した部材内を真空排気し放電のためのガスを封入する工程を行うことを特徴とするプラズマディスプレイの製造方法。

【請求項 5】蛍光体層を有するプラズマディスプレイ用部材を用いたプラズマディスプレイであって、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のプラズマディスプレイの製造方法によって製造され、プラズマディスプレイ形成後の蛍光体層表面の残存炭素成分が 15 at % 以下

であることを特徴とするプラズマディスプレイ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【課題を解決するための手段】本発明は、蛍光体層を形成した部材および／または放電のための複数の電極を形成した部材に封着フリットを塗布・焼成した後、蛍光体層を形成した部材と放電のための複数の電極を形成した部材を封着する工程、および封着した蛍光体層を形成した部材と放電のための複数の電極を形成した部材内を真空排気し放電のためのガスを封入する工程を有するプラズマディスプレイの製造方法であって、部材に蛍光体層を形成した後に酸素を含む雰囲気下で蛍光体層に紫外線を照射することを特徴とするプラズマディスプレイの製造方法である。